

# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 藤原 咲  
所属 (School) 大阪府立大学  
学年 (Grade) 修士 2 年

留学先 (Name of overseas institution) 台湾

留学期間 (study abroad period) 5 日間

記入日 (Date) 2017 年 8 月 9 日

## 留学レポート Study Abroad Report

2017 年 7 月 30 日から 8 月 3 日に台湾で開催された国際学会 "The 7<sup>th</sup> Asian Particle Technology Symposium" に参加しました。私にとって初めての海外、かつ初めての国際学会でした。

### ★学会までの準備

発表形式には口頭発表とポスター発表がありましたが、私はポスター発表で参加しました。国際学会への準備は日本国内での学会への準備よりも想像していた以上に大変でした。私が準備において苦労したことは大きく分けて 2 点あります。

まず 1 点目は、英語でポスターを作ることです。私がこれまで参加してきた日本国内の学会はすべて日本語のポスターだったので、英語でポスターを作るのは初めてでした。作り始める前は日本語を英語に訳すだけだと軽く思っていたのですが、実際に作り始めるとそう簡単にはいきませんでした。日本語を英語に直訳すると英語の方が文字数が多いため、どうしてもポスター内の文字の量が多くなり見にくくなってしまいます。そこで私は、文字の量をできる限り少なくして図を多めに用い、見やすくかつ初めて見る人に興味を持ってもらえるようなポスターを心がけて作りました。実際、私はこれまで様々な学会に参加してポスター発表を見てきましたが、やはり文字がぎっしり詰まったポスターよりは図が多いポスターの方が、どのような研究をしているのか、どのような結果が得られたのかがイメージしやすいです。したがって、特に国際学会では初めての人にも分かりやすく伝わりやすい見た目にするをおすすめします。(あくまでも個人的な意見です。)

2 点目は、英語での質疑応答です。私は英語が以前から苦手で、特に話すことへの苦手意識が強くありました。研究内容の説明は練習を重ねることで上手く話せるようになりますが、質疑応答ではその場で言われたことに対して英語で答えなければなりません。そのため私は質疑応答が非常に不安でした。ちょうどその頃、国内外で英語で発表する学生を対象とした英語プレゼンテーション研修が大学で行われていることを先生からお聞きし、参加することにしました。プレゼンテーション研修では、ネイティブスピーカー講師に対して実際にポスター発表を行い、質問を受けたりアドバイスをもらったりしました。ポスターの内容やそれ以外の内容の様々な質問を受けましたが、なんとか質問を聞き取ることができて聞かれていることに対する答えを上手く英語にできず、自分の英語力の無さと英語力の向上の必要性を痛感しました。ネイティブスピーカーの講師から受けた質問やアドバイスをもとに、発表原稿を推敲したり質問の対策をしたりしました。具体的には、ポスターに記載されていることだけでなくオリジナルの表現を説明に加えたり、ポスターに記載されているどの部分を聞かれても英語で説明できるように準備したりしました。

### ★発表

初めて国際学会に参加しましたが、日本国内の学会とは異なり独特の緊張感がありました。1日の始まりに Plenary Lecture (基調講演) が毎日あり、2日目に私達の研究室の教授の Plenary Lecture がありました。その講演の一部に私の研究内容が紹介されていたので少し嬉しかったです。講演を聞いて、教授の偉大さを改めて感じました。発表は、口頭発表が 111 件、ポスター発表が 75 件あり、それぞれ 3 日間と 2 日間に分かれていました。ポスターの発表時間は 75 分間でしたが、実際に発表しているとあっという間でした。これまでされたことのなかった視点や考えたことのなかった視点からの質問やコメントもあり、有意義な時間を過ごすことができました。また、自分の発表以外にも自分の研究に近い分野の発表を中心に聞くことで、世界では今のような研究が行われているのかを知る良い機会となりました。



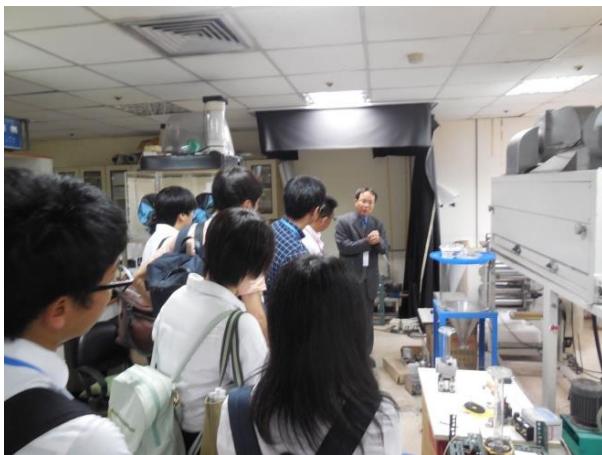
綿野教授による Plenary Lecture の様子

### ★研究室見学

今回大会の会長の Prof.Kuo に開催校である長庚大学の研究室を案内していただきました。私は海外の大学の研究室見学は初めてだったため楽しみにしていました。研究室には私達の研究室と似たような装置がありましたが、実験装置や分析機器の数は圧倒的に多く、実験室も広く感じました。また、そのスペースを 7 人という少人数で使っていることに驚きました。数多くあった装置の中でもスプレードライヤーが最も印象に残っています。乾燥塔がガラスでできており、中の状態が見えるようになっていました。しかし、放熱しやすいというデメリットもあるので、目的によってガラスとステンレスのものを使い分ける必要があると思いました。今回、学会発表だけでなく、研究室を見学させていただくことができ貴重な経験となりました。



ポスター発表の様子



研究室見学



長庚大学

5 日間という短い期間でしたが、初めて国際学会に参加することができ良い経験になりました。初めてのことばかりで不安は大きかったですが、その分刺激的な日々を過ごすことができました。発表の準備やそこに至るまでの過程は大変でしたが、その分得られるものも多く、研究に対するモチベーションを高める良い機会となりました。また、自分の英語力を向上させる必要性を改めて痛感しました。今回初めて海外に行きましたが、台湾だけでなく他の国にも訪れ色んな世界を知りたいと思いました。

皆さんも国際学会に参加できる機会があれば、ぜひ積極的にチャレンジしてみてください。